



社協だより

平成30年 **10**月



祝
敬老フェスティバル

9/14 敬老フェスティバル

清水町 清寿会の皆さん



目次	平成29年度収支決算・事業報告……………	2P
	福祉の旅・シルバー体育レクリエーション…	3P
	戦没者追悼式・老人クラブ輪投げ大会……………	3P
	敬老フェスティバル……………	4P
	健康福祉推進員活動……………	4P
	介護職員初任者研修修了・新職員紹介……………	5P
	健康福祉まつり……………	6P
	共同募金運動・日本赤十字社会費実績・災害義援金…	6P



社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。



第41回 最上町福祉の旅 ～飛行機で行く京都・大阪の旅～

6月6日～8日に「第41回最上町福祉の旅」が総勢41名の参加で行われました。

仙台空港から飛行機で出かけ、京都の金閣寺や伏見大社稲荷、大阪では通天閣や「なんばグランド花月」で演芸を觀賞するなど、盛りだくさんの思い出に残る平成最後の旅となりました。



7月6日

第43回 最上町シルバー体育レクリエーション大会



万騎の原の「ふれあいの里」において、町内各地の老人クラブから25チーム432名の参加で「最上町シルバー体育レクリエーション大会」が開催されました。

向町小学校4年生の児童の皆さんの力強い応援に励まされ、「孫探し競争」や「パン食い競争」など7つの競技、そして児童と一緒に輪になって踊った「最上町音頭」。笑顔があふれる楽しい時間となりました。

ボランティアとして参加してくださった最上町民生児童委員、向町婦人会、最上校ボランティア推進委員会の皆様、ご協力ありがとうございました。

6月21日

平成30年度 最上町戦没者追悼式

最上町中央公民館を会場に「平成30年度 最上町戦没者追悼式」が行われました。

戦後73年、遠く故郷を想い尊い命を捧げた420柱の英霊に、多くの来賓、遺族の方々と平和への願いを込めお祈りしました。

また、最上中の生徒さんから「平和の作文」の発表がありました。



8月3日

第4回 最上町老人クラブ連合会 輪投げ大会



8月3日、町内の老人クラブから26チームが参加して輪投げ大会が開催されました。

10月に山形市で開催される全国交流大会への出場枠を狙って、一投一投に気持ちを集中させ白熱した大会となりました。結果は、1位・法田下Aチーム、2位・東法田Aチーム、3位・月楯老人クラブBチームとなり、10月10日に山形市で開催された全国大会に参加してきました。



祝 最上町敬老フェスティバル

去る9月14日最上町中央公民館において、450名の参加者による平成30年度最上町敬老フェスティバルが開催されました。

第1部は、喜寿104名・米寿87名・白寿13名・百賀以上16名・おしどり金婚さん15組の方々への賀詞及び記念品の贈呈が行われました。また、この日のために今年も富沢小学校児童よりお祝いメッセージカードが配られました。第2部では、シルバーフェスティバルを開催して、各地区の老人クラブ等からカラオケや舞踊、あたごこども園年長児によるダンス、さらに今年度を最後に閉校となる東法田小学校児童による「田植え舞」が披露され、にぎやかな敬老を祝う会となりました。



健康福祉推進員活動

おらいのサロンへようこそ

各集落において健康福祉推進員の方々が中心となり、参加者の方々と協力し明るく楽しいサロン活動で盛り上がっています。

現在、51集落で62名の健康福祉推進員の方が活動を行なっています。



堺田・松根合同サロン (お元気教室)



黒沢サロン (永井医院)



向町8区 (食改体操)



向町5区 (方言かるた)



下小路サロン (ヤクルト講話)



前森2区 (健康体操)

戸沢村災害ボランティアセンター運営の協力へ



8月に起きた豪雨災害において戸沢村では大きな被害を受けたため、8月11日より2週間にわたり災害ボランティアセンターが立ち上がりました。全国からボランティアを募るため、県内の社会福祉協議会より運営スタッフの派遣が行われ、最上町社協でも災害ボランティアセンターへの支援に行ってきました。戸沢村の方の「多くの人に助けてもらった、支え合いの大切さを感じた」という言葉がとても印象的でした。

平成30年度介護職員初任者研修、 7名が資格取得し修了！



知らないことを学ぶことは楽しい。

高校生4名、一般受講者3名の計7名が約5か月間の長きにわたって講義や実習等のカリキュラムをすべて終了し、最終段階である修了試験をみごと合格。受講生全員そろって修了証明書が授与されました。受講生は、「受講前は最後まで受講できるか不安だったが、講師の先生方に支えられて無事に終わることができた」と笑顔で話してくれました。介護職員初任者研修を受講し、資格取得したことがきっと役立つことと期待しています。平成11年から開催している研修会において、今年で125名の高校生と39名の一般受講者、計164名の方が資格取得されました。



平成30年度 最上町社会福祉協議会会費

◎戸別会費 **2,518世帯 3,777,000円** (1世帯あたり 1,500円)
(平成30年10月1日現在)

会費の納入につきまして厚くお礼を申し上げます



みなさまからいただいた会費は、住民相互の“支えあい・助け合い”の気持ちを養うための事業推進の重要な財源となります。

すべての人が安心して暮らせるまちづくりをめざし、地域福祉活動の一層の充実を図るために、大切に活用させていただいております。

よろしくおねがいます



デイサービスセンター

看護職員

かねだ ともみ
金田 友美



デイサービスセンター

介護員

おくやま のぶこ
奥山 伸子



地域包括支援センター

介護支援専門員

わたなべ りょうこ
渡部 良子

10月から新たに3名のスタッフが仲間入りしました。

1日も早くご利用者様から顔を覚えていただけるように頑張っていきたいと思います。

みなさん、気軽にお声掛けしてくださいね~!!



11月11日(日)

恒例の「第41回最上町健康福祉まつり」 が開催されます



●福祉センター 入浴・大広間利用 1日無料開放

●健康クラブ トレーニングルーム等 1日無料開放

★渡辺俊治郎先生による特別無料レッスンがあります。
(エアロビクス元日本チャンピオン)

★レッスン時間 ①10:30～ ②13:00～



平成30年度

共同募金運動

ご協力ください

戦後、生活に困った人たちを救済しようと「国民たすけあい運動」として始まった共同募金運動は、現在、「じぶんの町を良くするしくみ」として地域の様々な福祉活動を応援しています。

10月1日～3月31日まで毎年1回、全国一斉に北海道から沖縄まで募金を行うため、厚生労働大臣の告示によって募金期間が決められており、12月1日から12月31日までは歳末たすけあい募金もあわせて行います。

つかいみち

☆最上町で集まった、赤い羽根募金の70%は最上町のさまざまな福祉に使われております。

(残りの30%は山形県の福祉に使われております。)

☆歳末たすけあい募金については、100%最上町で集まった募金は、最上町の援助が必要な世帯の方を中心に使われております。



◎ 平成30年度 日本赤十字社会費納入実績

◎一世帯当り	700円
◎協力世帯数	2,522世帯
◎実績額	1,765,400円

日本赤十字社の事業活動は、社員の皆様からご協力いただく会費によって医療救護活動、救援物資の配布をはじめ、義援金の募集・受付、ボランティア活動など幅広い活動を行なっております。今後とも皆様の温かいご支援をお願いします。

 日本赤十字社 山形県支部
Japanese Red Cross Society

平成30年7月 西日本豪雨災害義援金 日赤県支部へ送金

7月に西日本において豪雨により大きな被害がもたらされました。社会福祉協議会では町内4箇所に募金箱を設置、受付窓口を開設し、9月末までに受け付けた義援金を日本赤十字社山形県支部に送金しましたので、ご報告いたします。

ご協力ありがとうございました。

義援金総額 101,967円 (個人・団体・募金箱)

北海道胆振東部地震災害義援金 受付(募金箱設置)のお知らせ

9月6日に北海道胆振東部において発生した地震は、大きな被害をもたらしました。日本赤十字社では、この災害で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しております。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

- 募金箱設置場所
最上町役場・最上病院・健康センター・福祉センター
- 義援金に関する問い合わせ先
(最上町社会福祉協議会 TEL 43-3180)